

エネルギーのバトンタッチ。

27.3 億 kWh

これは、私たち JR西日本が2006年度に列車運行で消費した電力量で、一般家庭の約77万軒分[※]にあたります。JR西日本ではこれまでも、地球環境への影響を考え、エネルギーを有効に利用する取り組みを推進してきました。その具体策が、ブレーキをかけたときに生まれるエネルギーを別の電車の加速時に利用する「回生ブレーキ」や、「ハイブリッド給電システム」・「上下タイキ電方式」の導入。電車の力をリサイクルするこれらのシステムにより、使用電力量の削減を目指しています。これからも地球にやさしい乗りものとして、私たちは前進し続けます。

ずっと、青い空と走るために。

エネルギーを有効利用する「回生ブレーキ」と「ハイブリッド給電システム」・「上下タイキ電方式」

回生ブレーキは、ブレーキをかけるとき生まれるエネルギーを電気に換えて、ほかの電車が使えるようにするブレーキ方式。回生ブレーキで生まれたエネルギーを蓄えるハイブリッド給電システムや上下線の架線を接続してエネルギーを供給する上下タイキ電方式により、電車が加速するときに電気を有効利用できるエコロジーな整備を進めています。



増やしています「省エネルギー車両」、見直しています「列車運行エネルギー」



回生ブレーキを搭載した最新の都市通勤型車両(321系)や北陸方面で活躍中の特急型車両(683系)など、省エネルギー車両の導入を推進。2012年度までに、全体の約75%を省エネルギー車両にすることを目標にしています。また、お客様のご利用にあわせた適正なダイヤや車両編成に見直しなど、さらなるエネルギー効率を向上した取り組みも行っていきます。

※2006年度、一般家庭2110万世帯、平均電力消費量13.4kWh、電気料金平均月額1,000円を仮定して算出